

質 問 回 答 書

Q1

空調機器の電気内容（1φ若しくは3φ）及び電気容量、台数の御指示を御願ひ致します。

Q2

敷地外駐車場の外灯電源は大学側キュービクルからとれば宜しいでしょうか。

Q3

資料9 プレス機 コンプレッサ-0.49Mpa と記載がありますがこの単位からでは電気容量等が確認出来ません。OKw、OKva にての表記を御願ひ致します。

Q4

資料9 トンネル 実験用照明 150A と記載がありますが150VA ととって宜しいでしょうか。

Q5

資料9 各機器の台数は1 台づつと考えれば宜しいでしょうか。

Q6

資料8 箇所数（弱電）と記載があるのはLAN 設備と考えて宜しいでしょうか。

Q7

構内交換設備・電話設備・構内情報通信網設備について、配線・配管の接続先（MDFや既設端子盤等）の位置及び接続先（電話設備のみ）の御指示を御願ひします。

Q8

電話設備について、2階各居室の電話受口は床から（OAフロア）露出モジュージャックの設置でよろしいですか。

A1

建築設備設計基準等に基づき、部屋の仕様や利用人数に応じた台数、容量として下さい。

A2

近接電柱からの引き込みによる別契約でもよいです。

A3

100Vアース付 別回路で 2.2kw 以上として下さい。

A4

15kVAとして下さい。

A5

お見込みのとおり。

A6

コンセントの数です。

A7

「追加資料②」の電話設備図を参考に検討願ひします。

学生寮側のインターネット設備につきましては、「追加資料④」をご確認ください。

A8

床構造や壁構造に適した接続口であればよいものとお考え下さい。

Q9

自動火災報知設備について、既設火災受信盤の種別（P型orR型）及び予備回線数（P型：予備窓、R型：予備アドレス数）の有無を指示願います。また、既設機器メーカー（ホーチキ株・能美防災株・ニッタン株・Panasonic等）も指示願います。

Q10

自動火災報知設備について、1階各居室の使用温度帯（特にトンネル火災実験室と熱流体特別実験室）を御指示願います。設置感知器種別の選定に必要です。

Q11

非常放送設備について、既設防災アンプの総容量及び使用容量・予備容量の有無を指示願います。また回線窓についても各階既設回路（廊下・実験室等と接続を想定していないのであれば、単独にて回線設定が必要となりますので、予備回線数も御指示願います。また、既設機器メーカー（Panasonic・TOA・VICTER等）も指示願います。）

Q12

院生の方の建物への夜間（夜中含む）の出入りはあるのでしょうか。

Q13

照明器具について既存で使用しているメーカーと合わせた方が宜しいでしょうか。

Q14

敷地外駐車場への出入り口に管制設備等（ゲート）は必要でしょうか。

Q15

既存キュービクル接続の時に停電作業を行います。夜間又は土日祝日作業となるのでしょうか。それとも平日でも行えますか。（作業時間は最低でも半日は必要となります。）

A9

既設火災受信盤の種別：P型
予備窓数：4つ
既設機器メーカー：能美防災(株)

A10

一般的な温度帯を想定してください。

A11

下記の通りです。

総容量：240W
使用容量：156W
予備容量：84W
予備回線数：なし
既設機器メーカー：松下通信工業（株）

A12

あります。

A13

必要ありません。

A14

必要ありません。

A15

土日祝日作業とお考え下さい。

Q16

既存キュービクルにて消火ポンプ電源が一般電源からとられていますが発電機の設置は必要ないでしょうか。

Q17

既存建物に警報盤は設置されていないのでしょうか。また設置されていない場合、以降の設置予定はないのでしょうか。

Q18

配線・ケーブルの露出部は既存にならいメタルモール若しくは鉄管（E、G管）にて保護すればよろしいでしょうか。また、機械接続の直前はプリカチューブ等の保護は必要でしょうか。

Q19

資料9の客員・受託研究院室の将来用電源にて100V30Aとありますが200V30Aではないでしょうか。（あまり100Vで20Aを超える機器はないと思います。

Q20

資料3 高圧埋設ケーブル新設工ですがFEP管は既存再使用と考えて宜しいでしょうか。それとも新設敷設でしょうか。

Q21

各実験室の照明器具について高温用、防湿・防雨等の条件は御座いますか。また照度レベルについて条件は御座います。

Q22

2階の各院室や研究員室は一般学校の教室のような考えで宜しいでしょうか。またパーティション等で間仕切することは御座いますか。

Q23

全般的に照明器具は露出型と埋込型のどちらを選定すれば宜しいでしょうか。

Q24

省エネルギーを考慮した機器の件ですが、トランスはトップランナー2014 JISC2013 準拠品で宜しいでしょうか。

A16

消防法令等を確認し、適正な設備となるように対応願います。

A17

設置されております。

A18

よろしいです。
意匠面に配慮した設計として下さい。

A19

100V20Aでお考え下さい。

A20

既存管でなく、新設管を想定しております。

A21

特にありません。
照度レベルについては、JIS照度基準を標準としてお考え下さい。

A22

お見込みのとおり。
間仕切ったの利用は考えておりません。

A23

埋込型とします。

A24

よろしいです。

Q25

今回の増設QPのトランス容量は3φ200K+1φ150Kですが、動力の増設容量に対してコンデンサー、リアクトルは必要でしょうか。

Q26

・今回、増設QBの送り元はどの受変電から来るのでしょうか？
(資料3の計画案では既設キュービクルが2基存在しています。)
又送り出しの開閉器(LBS)方向性等は必要でしょうか？
又は既設キュービクルに連結でしょうか。

Q27

今回、増設QBの容量アップに伴い、既設QBの高圧CT,計器類の交換改造等は必要でしょうか。(送り出し開閉器増設も含む)

Q28

今回の増設QPが単独設置の場合、主開閉器はLBS、VCBのどちらでしょうか。

Q29

各個室出入口及び外部出入口に電気錠等の防犯機器は必要でしょうか。必要な場合、インターホン等との連動も必要でしょうか。御指示願います。

Q30

増築計画エリアにおいて、給排水既設分岐箇所のご指示を願います。

Q31

屋内消火設備又はスプリンクラー設備は必要ですか。
必要とする場合は、既設消火設備の図面を確認させて下さい。

Q32

屋内消火栓、消火器を設置する場合には、廊下に露出ボックスで検討してもよろしいですか。

A25

力率計算等を実施し、容量に見合うコンデンサ、リアクトルを選定し、設置して下さい。

A26

「追加資料①」の引込幹線図等を参考に確認して下さい。
新棟に必要な電気容量を計算して、第1QB(受電QB)に増設する形を想定しています

A27

CTや計器のレンジと増設後の必要表示レンジが不足するようであれば、取替等を検討して下さい。

A28

VCBでお考え下さい。

A29

必要ありません。

A30

資料7 平面計画図に記載の、既存給排水管(露出配管)より分岐、振替するものとしてお考え下さい。

A31

消防本部に確認済みであり、仕様書に記載のとおりです。
「追加資料③」の屋内消火栓図①及び②を確認して下さい。

A32

よろしいです。

Q33

雨水については、埋設配管もしくは側溝のどちらで検討すればよろしいですか。
既設接続箇所も併せてご指示ください。

Q34

空調機は天吊露出型で各部屋個別に検討してもよろしいですか。

Q35

換気設備は換気扇+自然給気口で検討してもよろしいですか。
※精密測定、恒温室はロスナイと指示があります。

Q36

トンネル火災 実証実験室にも空調・換気設備を検討すればよろしいですか。

Q37

換気ダクトの外壁貫通部には防音処置が必要でしょうか。

Q38

募集要項 (P7)

同種業務の実績として元請け600 m²以上の学校施設とされていますが、この中には仮設校舎を含めてもよろしいでしょうか。
また、その場合、業務の完了は仮設校舎の「建設」を証明できるもの（竣工検査済証や写真など）としてもよろしいでしょうか？

Q39

募集要項 (P10)

要求した内容以外の書類、図面等は受理しないとありますが、提案内容を分かり易く伝えるために図面を引用して説明図とすることは問題ないでしょうか？

A33

どちらでもよいとしますが、側溝の接続箇所については、最寄りの既存校舎側溝への接続として計画をお願いします。
「雨水既設接続箇所」を確認して下さい。

A34

提案内容として判断いただきたい。

A35

よろしいです。

A36

お見込みのとおり。

A37

消音ボックス設置等の処置は、不要とお考え下さい。（防音事業ではない）
機器騒音が一定値を超える場合は、必要な対策を考慮をお願いします。

A38

同種業務の実績は、仮設校舎を含めるものとしめます。
業務の完了を証明するものは、竣工検査済証などの書面で確認できるものとしめます。（写真のみの場合は認めない。）

A39

プレゼンテーションには、技術提案書をパワーポイント等によりスライドを使用するものとしめます。
引用したものであればよいものとお考え下さい。

Q40

基本計画 (P3) 仕上げ計画

十分な断熱性能、遮音性能、吸音性能、遮炎性能、遮煙性能等を確保すること、とありますが、別添資料8 (各室内仕上表) を満たすことで本性能が担保されるというお考えでしょうか? そうではない場合、要求性能を具体的に示して頂くことは可能でしょうか。

Q41

資料9各室設置機器表における各機器の重量・機器サイズを教えてください。

Q42

維持管理業務仕様書について

自火報など、既存設備含めて記載必要と考えるが既存のメンテナンス周期等お示し願います。

Q43

ライフサイクルコストの試算について

既存含めて記載必要と考えるが、直近一年程度の実績をお示し願えるか? また、実験にかかわる水光熱費等は別途でよいでしょうか。

Q44

既存外壁解体について、アスベスト含有との記載あるが湿潤工法により解体可能と思われるが、固化工法必要でしょうか。

Q45

実験室において、特殊な排煙設備【資料8記載の排煙チャンバーのことと推察】および吹き出し口窓とあるが、煙の成分はなにか? 成分によっては大気汚染関係届け出必要と考える。

Q46

トンネル実証実験室において、裸火、爆発性要素の使用はないと考えるがよいでしょうか。

A40

別添資料8 (各室内仕上表) は、標準仕様として記載しています。

諸室の用途・機能に応じて、グレードアップする提案も可能とします。

A41

3月3日から本学ホームページで掲載している通知の「資料9 特定機器 (3.10追記)」を確認して下さい。

A42

総合点検 (年1回) : 毎年8月

機器点検 (年2回) : 毎年8月、2月
を実施している。

A43

令和2年3月から令和3年2月までの光熱水費はおよそ7,312千円となっております。実験にかかわる光熱水費等は別途でよいです。

A44

関係法令等に遵守した適正な処理方法であればよいとお考え下さい。

A45

発煙筒、ヘプタン、アルコール等を想定しております。

A46

トンネルの中において、裸火の使用がありません。
アルコールやヘプタンを使用します。

Q47

既設改修部の仕様が分かる詳細図を頂きたい。また、既存教室棟全体の図面をデータで頂きたい。（JWCまたはPDFで頂けるか）

Q48

統括代理人選定の際、延べ面積600㎡以上の建築工事における実績とありますが、この実績は弊社雇用以前の他社雇用時の実績でもよろしいでしょうか。

Q49

インフラ現況図はあくまで参考資料であり今回の工事内容には含まれない認識でよろしいでしょうか。

Q50

同種業務の実績は県内だけでなく全国範囲でよろしいでしょうか。

Q51

駐車場整備事業の工事内容(面積や仕様など)を詳しく教えて頂きたい。

Q52

募集集要項P-4 7. 入札に参加する者の備えるべき参加資格要件(3) 設計業務の参加資格 イ「プレハブ造で延べ床面積600㎡以上の」とありますが、構造種別はプレハブ造に限定するものとの解釈でよろしいですか。

Q53

募集要項P-5 7. 入札に参加する者の備えるべき参加資格要件(4) 施工業務の参加資格 イ「延べ床面積600㎡以上の」とありますが、構造種別は設計業務資格者と同様にプレハブ造に限定されるのでしょうか。

A47

「【既存建物】改修図面」をご確認下さいさい。

A48

よろしいです。

A49

お見込みのとおり。

A50

よろしいです。

A51

基本計画P-10を参照して下さい。

A52

お見込みのとおり。

A53

施工業務の参加資格では、プレハブ造に限定しておりません。

Q54

募集要項P-7(4)ア、募集要項P-9(3)ア参加表明書(様式1)、技術提案書(様式5)の押印ですが、「代表者印を押印の上、提出すること」とありますが、令和2年度小松市入札参加資格申請にて本社より入札権限を委任されている営業店であれば、その印を使用させて頂いて宜しいでしょうか。

Q55

資料4 地質データ図 ボーリング柱状図敷地内既存ボーリング調査GL=今回の計画建物のGLと仮定して基礎を設定してよろしいでしょうか。

Q56

2階床の積載荷重は、教室荷重(床用2,300N/m²)でよろしいでしょうか。

Q57

屋根の積載荷重は無しと考えてよろしいでしょうか。(将来計画含む)

Q58

1・2階の床に教室荷重以上の重量物が載る予定はありますか。
ある場合、重量物の品名及び重量をご教示願います。

Q59

各実験室で考慮しなければならない荷重(風荷重等)はありますか。

Q60

基本計画P-9 7. 設備計画に係る基本要件(7) 特殊設備 アICT設備 ①インターネット接続Wifi6対応の機器とありますが、型番をご教示願います。
また、IPアドレス等の調整については別途と考えてよろしいでしょうか。

A54

よろしいです。

A55

よろしいです。

A56

よろしいです。

A57

お見込みのとおり。

A58

基礎工事等が必要となる重量物の機器設置は予定しておりません。
予定している機器設置については、資料9 各室設置機器表を参照して下さい。

A59

特にありません。
該当の実験器具や一般的な什器等の床荷重のみです。

A60

ICT設備はなるべく既存のものに合わせてください。

型番：AIR-AP2802I-Q-K9

IPアドレス等の調整は別途対応。

Q61

各実験室等について温度制御及び湿度制御が必要でしょうか。（通常の空調機リモコンでの制御程度でよろしいでしょうか。

Q62

各実験室のクリーン度の制約ありますでしょうか。

Q63

実験室にドラフトチャンバー等は不要と考えてよろしいでしょうか。

Q64

構造主任技術者は、計画規模より構造一級建築士を有する必要があるとの解釈でよろしいでしょうか。

Q65

電気設備及び機械設備の主任技術者は、「設備士の資格」を有するものとありますが、設備士の資格を有するのみならず、建設業法第七条第二号ハの規定による、同号イ又はロに掲げる者と同等以上の知識及び技術又は技術を有する者である必要があるとの解釈でよろしいでしょうか。

Q66

資料 8. 各居室内装仕上表

資料として各居室内装仕上が明記されていますが、参考として捉え、参加者の提案により変更が可能との解釈でよろしいでしょうか。

Q67

外部階段の塗装仕上げは溶融亜鉛メッキ仕上げでしょうか。

A61

お見込みのとおり。

A62

特にありません。
通常教室と同じで結構です。

A63

よろしいです。

A64

建築士法第 2 条及び第 10 条の 2 の 2 に規定する構造設計一級建築士の資格を有する者とします。

A65

両者又はいずれかが建築士法第 2 条及び第 10 条の 2 の 2 に規定する設備設計一級建築士であること。設備設計一級建築士でない者は建築設備士の資格を有する者とします。

A66

お見込みのとおり。

A67

耐候性・耐食性に配慮したものであればよいとお考え下さい。
なお、意匠面については提案内容として判断いただきたい。